

9月号 あいのそのだよ

発行日：2022年9月1日（木）№891

発行者：社会福祉法人 シオンの丘 愛の園保育園

主 題 のびのびと
 聖 句 日々励ましあいなさい。
 ヘブライ人への手紙3章13節
 讃美歌 ちから(幼ⅡP15)
 主イエスはまことのぶどうの木

「日々励ましあいなさい」

9月の聖句『日々励ましあいなさい』が記されているヘブライ人への手紙3章13節を書き出してみると「あなたがたのうちだれ一人、罪に惑わされてかたくなにならないように、「今日」という日のうちに、日々励ましあいなさい」とあります。私はこの箇所を読んでいてふと、5月の出来事を思い出しました。5月の連休を過ぎた頃、4歳の長女が新型コロナウイルスに感染したのです。小さい子どもは家庭内隔離が難しいため通常よりも自宅待機期間が長く、急ぎの仕事がある夫だけ「逆隔離」という形をとっての生活となりました。幸い長女の症状は半日程度の発熱だけですぐに快復しました。しかしながら、消毒作業や時間差での食事準備、娘たちの世話を一人で担う毎日に私自身が疲れて、イライラが募ってしまい、つい家族に強くあたることがありました。そんな時、長女が、次女を相手に保育園の礼拝ごっこをしている中で「早く病気が治って保育園に行けますように。お友だちも、みんなも守ってください。」と祈っていたのです。今まで食前の祈りなどを何となく真似していたのに、それは真似事ではない、紛れもなく彼女自身の『祈り』でした。その祈りに触れて、私はクリスチャンでありながら祈る事も忘れ、悪いことばかりを考えて態度に現わしていた自分を恥ずかしく思いました。新型コロナウイルスに感染して一番辛い思いをしていたのは長女だったのに、周りを気遣う彼女の祈りにとても励まされました。そしてこの間、本当に多くの方々に様々な形で励まされていたことに、改めて感謝の想いが溢れました。そこで、定期連絡をくださっていた保健所の方へ、最後の連絡の際に感謝の気持ちをお伝えしたら「そのように言っていただき私たちも励まされます。お嬢様が良くなられて本当に良かったです。大変でしたね。」と仰ってください、心穏やかに残りの待機期間も過ごすことができました。大変ではありましたが、とても大切な事を得た、約1か月の療養・待機期間となりました。引き続き感染が拡大している不安の多い毎日ですが、皆さんの心身の健康が守られ、日々励ましあいながら過ごせる毎日でありますようお祈りしています。

シオン山教会教会員 法人理事 中村響子



- 2日（金）避難訓練
 6日（火）こども礼拝
 7日（水）健康診断（0・1・2歳児）
 21日（水）誕生会（クラスごと）



◎今月の健康診断は、あか・ももぐみです。

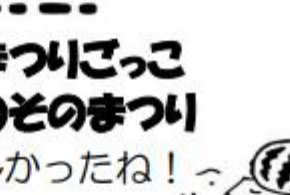
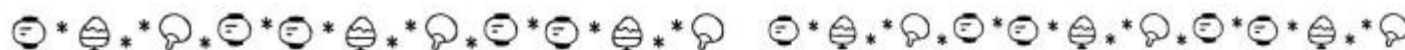
7日（水）は休まずに登園してください。

◎運動会につきましては、コロナ感染の状況を見ながら可能な範囲で実施する予定です。詳細につきましては、後日ご連絡を差し上げます。

◎実習生について

9月は西南女学院大学短期大学部保育科の学生が2名実習に来ます。

※まだまだ暑い日が続きますので水筒の準備、着替えの補充をお願いします。



9月 生まれのお友達

4日	1名	3さい
5日	1名	6さい
11日	1名	5さい
19日	1名	4さい
22日	1名	4さい
23日	1名	5さい
24日	1名	3さい
	1名	2さい
26日	1名	5さい

なつまついごっこ
 あいのそのまつい
 たのしかったね！

いらっしゃい
 ませ～!